

火頭山田種

その2

彦春町田西



初めに

種田山頭火の自由律俳句集『鉢の子』より21句を選び、意味を追いながら英訳しました。
日本語表記は現代仮名遣いに直しています。

種田山頭火について：

行乞しながら自由律俳句を作り続けた俳人です。

没年は昭和15年です。

CGイラストレーションについて：

CGイラストレーションは6ページ分ありますが、制作した元画像は3枚です。1枚を左右2分割して、2ページにわたり保存してあります。PDFファイルをAdobe Readerで開く場合、見開きの設定（メニューバーの[表示] → [ページ表示] → [見開きページ表示]）で御覧になると元画像がわかると思います。

次の画像処理ソフトウェアを使用して制作しました。

ArtRage 3 Studio Pro（アンビエント社）

Photoshop Elements 10（アドビシステムズ社）

参考文献について：次の文献を参考にしました。

山頭火句集（ちくま文庫）

2000年6月15日 第5刷発行

ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷り（株式会社大修館書店）

1994年4月1日 改訂版初版発行

新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷（株式会社三省堂）

昭和50年9月15日 第1刷発行

Longman Dictionary of American English (Longman Inc.)

First printing 1983

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

句と訳

物乞う家もなくなり山には雲

There are no houses for begging around here and there is a cloud above the hill.

ひょうひょうとして水を味わう

I taste water like a hermit.

今日の道のたんぽぽ咲いた

The dandelions are blooming along today's road.

句と訳

けさもよい日の星一つ

It is fine today, and the morning star is twinkling.

しみじみ食べる飯ばかりの飯である

I eat heartily the meal of rice only.

いただいて足りて一人の箸をおく

I have had enough and finish my breakfast alone.





句と訳

炎天をいただいて乞い歩く

I walk and beg under the scorching sun.

しとどに濡れてこれは道しるべの石

This is a stone for my guidepost, which is wet entirely.

まったく雲がない笠をぬぎ

The sky has no clouds and I take off my reedy hat.

句と訳

この旅、果てもない旅のつつくぼうし

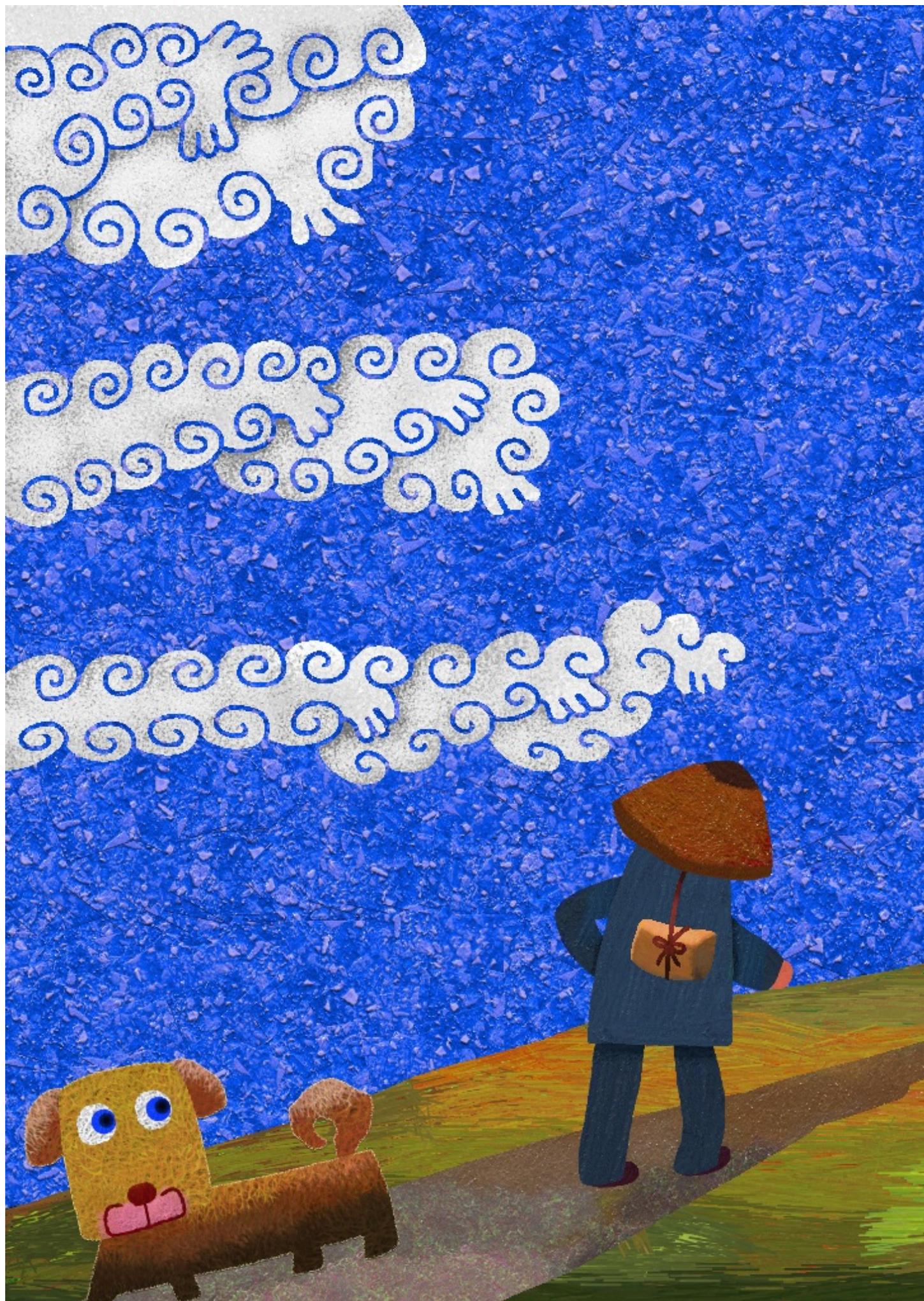
In this journey, I am merely a cicada of endless pilgrimage.

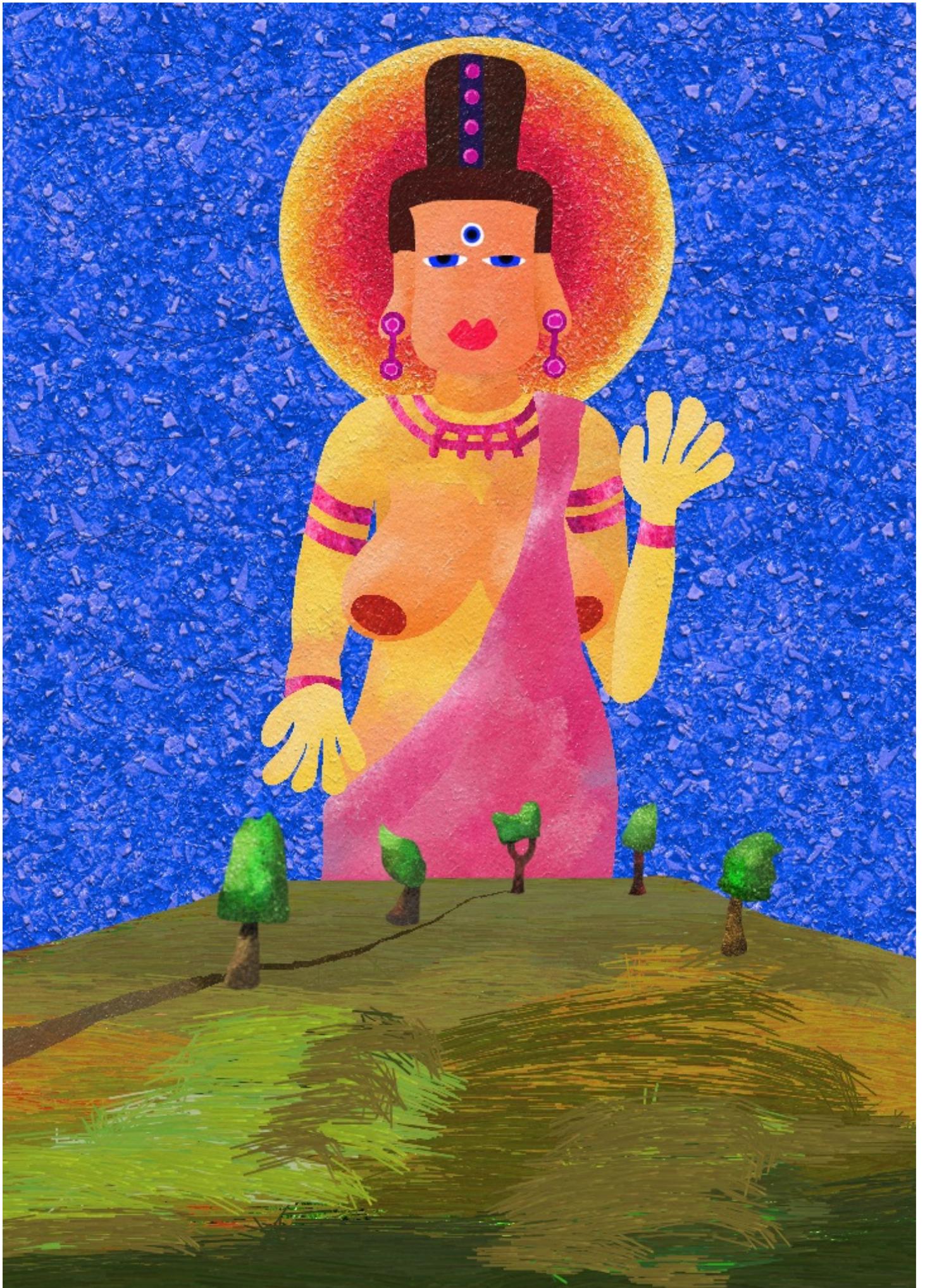
見すぼらしい影とおもうに木の葉ふる

Leaves have fallen onto my shade, which I feel to be shabby.

秋風の石を拾う

I pick up a stone in the autumn winds.





句と訳

どうしようもないわたしが歩いている

I have nothing else to walk.

歩きつづける彼岸花咲きつづける

My walk continues and spider lilies keep flowering.

また見ることのない山が遠ざかる

The hill goes away and I will never see it again.

句と訳

しぐるるや死なないでいる

It is drizzling and I am not to die.

しぐるる土をふみしめてゆく

I walk with a firm step on the drizzly ground.

寒い雲がいそぐ

The cold cloud flies.





句と訳

まっすぐな道でさみしい

I am lonely on the straight road.

霜夜の寝床がどこかにある

A bed perhaps waits for me somewhere in this frosty night.

安か安か寒か寒か雪雪

It is all right and all right and it is cold and cold and it is snowing and snowing.

終りに

著者について：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。

作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

現在、歴史書や画像処理ソフトウェアの解説書などの電子出版を計画しています。

（2013年3月 茜町）

種田山頭火 その2 (鉢の子より21句：イラスト・英訳)

<http://p.booklog.jp/book/68784>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/68784>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/68784>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ